

一般質問

・市公共施設の適正保有数とあり方について



渥美昌裕

**問** 御前崎市は、これまで電源立地地域対策交付金などを活用し、多数の公共施設を建設してきました。公共施設は、他自治体と比べ非常に充実しています。しかしその反面、修繕、補修などの維持管理費に毎年多額の財源が必要となり財政負担となっており

明確化し、保有量の最適化や施設の長寿命化を図る「施設評価」に新たに取り組みます。施設評価により、各施設の劣化状況や維持費、利用率の状況から統一的な評価を行い、有効活用がされていない施設は、統合や転用、廃止を進めます。人口が減少していく中で、維持すべき施設にしっかりと投資できる仕組みを確立することで、安全・安心で最適な公共施設の運営と施設保有量の最適化を目指します。

**答** 本年度「御前崎市公共施設等総合管理計画」を改訂いたしました。この改訂では、公共施設の新規整備は原則行わず、やむを得ず新規に整備する場合は、それと同等以上の削減を行うこととしております。また、公共施設の建て替えについても、他施設との複合化による多機能化を積極的に進めます。さらに、「維持すべき施設」と「改善を図る施設」を

今年度「御前崎市公共施設等総合管理計画」を改訂いたしました。この改訂では、公共施設の新規整備は原則行わず、やむを得ず新規に整備する場合は、それと同等以上の削減を行うこととしております。また、公共施設の建て替えについても、他施設との複合化による多機能化を積極的に進めます。さらに、「維持すべき施設」と「改善を図る施設」を

今年度「御前崎市公共施設等総合管理計画」を改訂いたしました。この改訂では、公共施設の新規整備は原則行わず、やむを得ず新規に整備する場合は、それと同等以上の削減を行うこととしております。また、公共施設の建て替えについても、他施設との複合化による多機能化を積極的に進めます。さらに、「維持すべき施設」と「改善を図る施設」を



市営広沢住宅

一般質問

・財政計画等について



河原崎恵士

**問** 市税が減少傾向していく中で、の施策について基本的な考え方は

**問** 市税増加策についての考え方は

**答** 既存事業の見直しを行い、財源確保に努めます。また、時代の要請に即した優先度の高い事業をしっかりと選択し、必要な事業に集中投資しつつ、一方で事業の縮小や廃止などを進めながら、持続可能な財政運営に努めます。

**答** 御前崎港の港湾地区へ鉄鋼材のリサイクル工場、バイオマス発電所の3事業所が建設されています。固定資産税や雇用者の市民税を合わせて3千万円程度の増収を見込んでいます。更に、仮に浜岡原子力発電所が将来再稼働した場合には、固定資産税や国からの交付金を見込むことができます。

**問** コロナ禍の下、財政出動等についての考えは

**問** 財政調整基金残高についての基本的な考え方は

**答** 経済対策として、プレミアム商品券事業や事業者に対する給付金事業を行ってきました。令和4年度は、交流人口の再生を図るよう民間から観光プロデューサーの受け入れやワークショップスペースの運用開始などの事業を展開します。今後は、市内経済の動向を注視しながら、財政調整基金を活用していきます。

**答** 本市は南海トラフ巨大地震の発生が危惧されている地域であり、想定される大規模災害に備えるためにも、一定額の残高は必要と考えます。新型コロナウイルス感染症の拡大による市内経済の動向を見ながら、以前からの方針である残高30億円にとらわれることなく、必要があれば財政調整基金の活用を図っていきます。